中1数学B 3学期 整数論・座標幾何 宿題解答 § 4 N進法と無限和

H4.1

$$S=5 imes(1+6^1+6^2+\cdots+6^{n-1}+6^n)=5 imes1+5 imes6^1+5 imes6^2+\cdots+5 imes6^{n-1}+5 imes6^n$$
を 6 進法で表すと、 $S=\underbrace{555\cdots55}_{(n+1) imes}=\underbrace{1000\cdots00}_{(n+2) imes}-1_{(6)}$ なので、10 進表記に戻すと、
$$S=\boxed{6^{n+1}-1}$$

H4.2

- (1) まず、チョコレートを 5 等分して、そのうち 4 つを 1 つずつ分ける。次に、残りの 1 つをまた 5 等分して、そのうち 4 つを 1 つずつ分ける。 この操作をずっと続けていけば限りなく 4 等分に近づいていく。 (操作は有限時間では終わらないけれど)
- (2) $4_{(5)} \times a = 4_{(5)} \times 0.\dot{1}_{(5)} = 0.\dot{4}_{(5)} = 0.4444 \cdots$ $a = \boxed{\frac{1_{(5)}}{4_{(5)}}}$

(注) 次のように考えてもよい。

$$10_{(5)}a = 1.1111 \cdots \cdots_{(5)}$$

$$-) \qquad a = 0.1111 \cdots \cdots_{(5)}$$

$$4_{(5)}a = 1_{(5)}$$

$$\therefore a = \boxed{\frac{1_{(5)}}{4_{(5)}}}$$

(3) $S = \frac{1}{5} + \frac{1}{5^2} + \frac{1}{5^3} + \frac{1}{5^4} + \dots = 0.1111 \dots = 0.11$

H4.3

(1) 交点のx座標は

$$3x + 1 = -2x - 9$$

$$5x = -10$$
 $\therefore x = -2$

である。交点がy=3x+1のグラフ上の点であることからy座標を計算すると、

$$y = 3 \times (-2) + 1 = -5$$

なので、交点の座標は (-2,-5) である。

(2) 交点のx座標は

$$-\frac{1}{2}x + 5 = 3x - 9$$

$$-\frac{7}{2}x = -14 \qquad \therefore x = 4$$

である。交点がy=3x-9のグラフ上の点であることからy座標を計算すると、 $y=3\times4-9=3$

なので、交点の座標は (4,3) である。

(3) 交点の x 座標は

$$3x - 4 = -x + 2$$

$$4x = 6$$
 $\therefore x = \frac{3}{2}$

である。交点がy = -x + 2のグラフ上の点であることからy座標を計算すると、

$$y = -\frac{3}{2} + 2 = \frac{1}{2}$$

なので、交点の座標は $\left[\frac{3}{2},\frac{1}{2}\right]$ である。

(4) 交点のx座標は

$$-\frac{2}{5}(x+11) = \frac{4}{3}(x+11)$$

$$-6(x+11) = 20(x+11)$$

$$-26(x+11) = 0$$

$$x + 11 = 0$$
 $\therefore x = -11$

である。交点が $y=-\frac{2}{5}(x+11)$ のグラフ上の点であることからy座標を計算すると、

$$y = -\frac{2}{5}(-11+11) = 0$$

なので、交点の座標は(-11,0)である。

(注) 両者のグラフは共に点(-11,0)を通ることは式を見てすぐにわかる。 これに気づければ、計算することなく交点は(-11,0)であるとわかる。